

# 校内研究の概要

## 実態・環境

丹波中学校

### 学校教育目標

「ふるさを愛し、ふるさから学び、  
ふるさを創造する生徒の育成」

- 少人数学校であり、全校道徳が可能
- 一人一人が活躍できる場面がある
- 生徒の多様化により、個に応じた指導が必要
- 主体的に考え行動する力をつけたい
- 高校進学を考え、心身ともに自立する必要がある

### 村

- 学校教育への参画
- 個に対する手厚さ
- 自然が豊か
- 産業がある

- 過疎化
- 少子高齢化
- 進学先選択の幅

### 指導要領

- ・グローバル化
- ・情報社会、技術革新
- ・社会に開かれた教育課程
- 特別の教科 道徳
- 主体的・対話的で深い学び
- カリキュラムマネジメント
- 言語能力、外国語教育
- 伝統文化、体験活動

## 目標

「道徳科における、自己・ふるさを  
主体的に考える生徒の育成」  
～実態に応じた道徳授業の改善を通して～

### 目標

- (1) 全校道徳において、発達段階や個、地域の実態をふまえ、議論し、考える場面の充実を図る。
- (2) 道徳授業において、ねらいを明確にし、発問を工夫した授業を構築し、主体性を育てる。

### 重点内容項目

- ・ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。  
1-(3) (自主、自律、自由と責任)
- ・ 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。  
4-(8) (郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度)

## まとめ

### まとめ方

- ・ 教師による見取りアンケート
- ・ 道徳科の実践における成果と課題
- ・ 生徒アンケートによる見取り
- ・ 「まな BOOK」を活用した生徒による自己評価

### 期待する結果

- 教師について
  - 道徳授業について
    - ・ 小規模校の全校道徳の実践研究
    - ・ 主発問、内容項目を意識した授業の構築
    - ・ 個や実態に応じた授業、生徒指導
    - ・ 年間を通しての変容を見取った評価
- 生徒について
  - 主体性
    - ・ 自ら問題意識を持つ
    - ・ 自己と関連をもって粘り強く取り組む姿勢
    - ・ 自己を振り返り、次につなげる姿勢
  - 道徳性
    - ・ 自律の精神、誠実さと自主性
    - ・ 自己の生き方と地域とのつながり
    - ・ 郷土愛と郷土の発展への参画

## 継続的に実践

- ・ 「まな BOOK」を活用した生徒の家庭学習、生活の様子の把握
- ・ Q-U 検査の実施とその分析
- ・ やまなしスタンダードを意識した授業づくり
- ・ iPad などの ICT 機器の活用 (含・オンライン授業)
- ・ 個に応じた学習支援
- ・ 読解力育成のための新聞と R80 の活用
- ・ 学び Time を活用した基礎的・基本的な知識・技能の定着

## 全校道徳

- ・ 学年間を超えた話し合い活動
- ・ 発達段階を意識し、それを共有し、尊重する
- ・ 学び、考え、議論したいと思う発問
- ・ 内容項目の意識
- ・ ねらいを達成するための手立て、授業の構築
- ・ 担任以外の教員による授業
- ・ 教材や教科書の活用方法
- ・ 学校行事とのつながり

## 道徳授業

- ・ 学び、考え、議論したいと思う発問
- ・ 内容項目の意識
- ・ ねらいを達成するための手立て、構築
- ・ 外部人材の活用
- ・ 教材や教科書の活用方法
- ・ 学校行事及び他教科とのつながり